

第36回定例会

Facility・DIG演習

レジリエンス協会
演習研究会

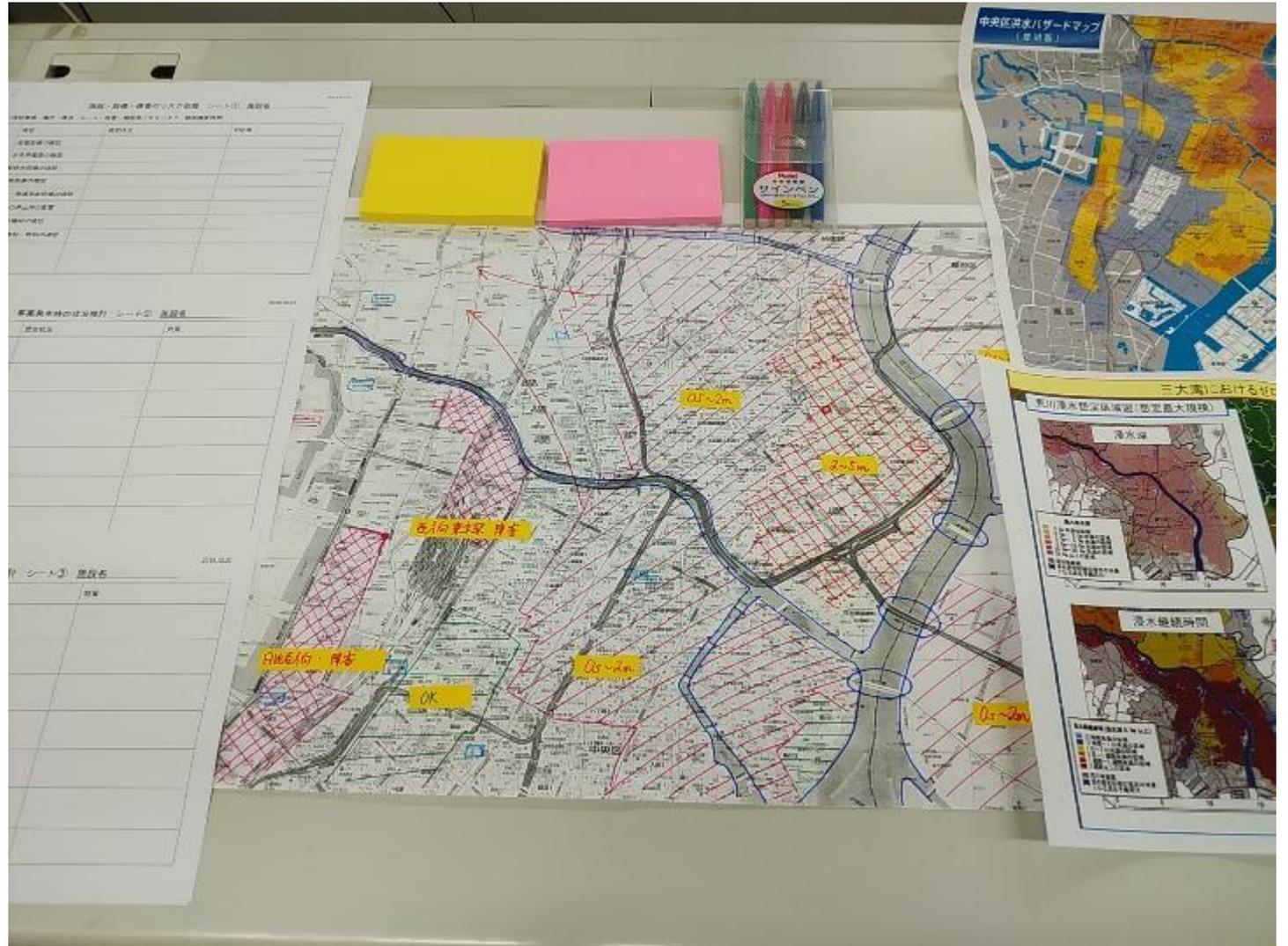
本日の流れ

1. Facility・DIGの概要説明
2. 地震をテーマに検討・意見交換
3. 水害をテーマに検討・意見交換
4. 次の取り組み「二次チェックリスト」について
5. アンケートご記入

Facility・DIGの概要について

DIGは災害図上演習の手法です。

DIGは、常葉大学の小村先生が開発され、静岡県をはじめ様々な防災の取り組みで活用されています。



DIGの概要

- ◆ DIGは、地図上に地域特性や地形、行政や病院、警察、消防署、避難場所等の災害時の関係先をマーキングし、地震や津波、風水害等の事案発生時の被害状況をグループワークとして情報共有するものです。
- ◆ DIGは、地域の脆弱性や特性を把握し、要支援者や対応要員、資機材等を地域として災害と向き合うかを考える手法です。
- ◆ 避難する経路の安全確保や、避難場所の実際の面積と想定収容人員数などを具体的に検討することで、地域の災害時の被害イメージと具体的対応策を検討する手法です。

Facility・DIGの流れ

- (1) 準備
- (2) F・DIGの概要説明とメンバー自己紹介
- (3) 被害想定、過去事例(映像・写真等)の情報共有
- (4) 地図マーキング(災害関係情報の地図記入)
- (5) 地図エリアマッピング(地域特性の地図記入)
- (6) 施設構造、設備、指揮中枢・資機材備蓄場所の確認
(チェックリスト等を活用して確認を進める)
- (7) 発生する事象と施設に対する具体的影響を検討する
- (8) 発生事象対応計画、資機材、要員の準備状況と訓練の練度を
確認する。
- (9) 今後の必要な対応について時系列で計画を検討する。

地震をテーマに検討・意見交換

施設の立地やハザードマップを確認し、一次チェックリストの「①」の欄に地震発生時に影響が出るとと思われる項目に印をつけてください。

「◎」・・・特に大きな影響を受ける。あるいは長期の影響を受ける。

「○」・・・影響を受ける。

なし・・・影響は無さそうである

地震の情報です。

- 発生場所は施設の2キロ北西を震源とした地震。
- マグニチュードは7.3
- 施設所在地周辺の震度は「7」
- 現在は停電、断水、ガス停止です。
- 公共交通機関は全線運転見合わせです。

検討・意見交換

- 影響が出る設備について実運用での具体的事項を意見交換してください。
- 事業継続として何が問題となりますか。

水害をテーマに検討・意見交換

施設の立地やハザードマップを確認し、一次チェックリストの「②」の欄に水害発生時に影響が出ると思われる項目に印をつけてください。

「◎」・・・特に大きな影響を受ける。あるいは長期の影響を受ける。

「○」・・・影響を受ける。

なし・・・影響は無さそうである

洪水の情報です。

- 足立区、江東区で堤防が決壊し広域に浸水が広がっています。
- 皆さんの施設周辺でも河川が氾濫し浸水が広がっています。
- 現在、停電しています
- 公共交通機関は全線運転見合わせです。

検討・意見交換

- 影響が出る設備について、復旧にどの位時間がかかるかを意見交換してください。
- 事業継続として何が問題となりますか。

二次チェックリストについて

- 二次チェックリストは一次チェックリストの内容をより具体的にするためのものです。
- 目的は、ある施設・設備が利用できない場合の「想定される支障・影響」に対してどのような対策を実施するか見極めることです。
- 問題となる施設や設備を変更することは容易ではありません。また、部分最適と全体最適について組織全体として検討する必要があります。（施設が機能回復しても事業継続上活用できなければ優先順位は低くなる）
- 施設の状況は個々に異なります。加筆・改善して最適化を進めてください。

Facility・DIG後の取り組み

- Facility・DIGで災害対策が終わってはならない(「やった感」が充足され終わらないように)。
- Facility・DIGは「スタートライン」に立つための準備。
- Facility・DIGの準備・実施で疲れ果てない事。

施設が完成してから実施するのではなく、計画段階で災害リスクをしっかりと検討し、立地や構造、用途が適切であるか確認する必要がある。施設は簡単には移すことはできません。

完成後に機能強化することは大きなコストがかかる場合が多いため、計画段階から将来を見越したリスクマネジメントが重要となっています。

参考資料：Facility・DIGの準備

◆用意するモノ

- ・ 地図
- ・ 地域のハザードマップ
- ・ 透明シート(透明テーブルクロス等でも良い)
- ・ 油性ペン(書き込み用)
- ・ ベンジンとティッシュペーパー(油性ペン修正用)
- ・ セロテープ・メンディングテープ
- ・ はさみ、カッター
- ・ 付箋紙(地図上の表示や意見等を書き込みます)
- ・ 丸型のカラーシール(防災拠点に貼る等に使用)
- ・ 災害等の写真集・新聞等の縮刷版

ご意見・ご質問・お問い合わせ

Facility Management防災Lab
上倉 秀之

〒183-0034東京都府中市住吉町2-30-31-3-601
連絡先携帯電話 090-5539-9484
メール: fmbousailab-20190401@memoad.jp